

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		釜石市すくすく親子教室				公表日	令和7年3月19日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		人数に合わせて活動場所を2箇所に設定するなど調整し、環境を整えている。		
	2	職員の配置数は適切であるか	6		職員体制を調整し配置数を確保している。	利用者数や個別対応の有無によっては、職員数が不足と感じることがある。	
	3	生活空間は、子どもがわかりやすく構造化された環境になっているか、また事業所の設備等はバリアフリー化等の配慮が適切になされているか	6		提示物を必要最低限にし、刺激が少ないようしている。		
	4	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか、また子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6		・子ども達の興味に合わせて遊具等を設定している。 ・整理整頓を心がけ空間の確保を意識している。	放ディ利用児童には、水回り等の生活空間が見合っていないと感じる。（主に就学前児童を対象とした設備となっているため）	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	6		・クールダウンを図れる場所（静養室や使用していない教室など）を設定している。 ・活動中の教室の中でも、場所を確保し、個々への配慮を行っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1	前期、後期で事業内容の振り返りを行い、現状と課題を確認して改善につなげている。	行事の打ち合わせに難しさを感じることがった。	
	7	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		年度末に保護者アンケートを行い、結果を職員間で共有しながら改善に向け意識して取り組んでいる。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	5	1	短時間パート職員にも話を聞き、出された意見は上司に伝えている。	情報共有する機会が継続的に行われる環境づくりが必要と思う。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2	・運営委員会で事業内容の説明や報告をして、ご意見をいただいている。 ・実習生の受け入れや関係機関等の見学を実施することで、外部の視点や意見を聞く機会としている。		
	10	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		WEB研修を中心に受講している。	・受講後の振り返りや事業所で出来ること、やってみたいこと等話し合いを持てればさらに向上できると思う。 ・療育の基礎的な研修、学ぶ場を全体で行い質の向上と見直す機会があるとよい。	
支援体制	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	5	1	今年度から支援プログラムを作成し、市ホームページのほかメール配信サービス「マチコミ」で周知・公表している。		
	12	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		モニタリングを通して評価し、見えてきた課題への手立てや取り組み方を考え目標を決めるようにした。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	4	1 未回答1	児発管が作成した計画を担当者も確認し、その上で保護者に説明を行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	5	未回答1		児発・放ディ等問わず、職員間の共有の場があれば、見方が広がり、より具体的な支援につなげられると思う。	
	15	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2 未回答1	外部機関で実施された検査結果でも発達状況を把握し個別支援計画の作成に活かしている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	未回答1		ガイドラインのポイントとなるところを読み合わせるなど、理解にあたって具体的に学べる機会があるとよい。	

適切な支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		日々の活動は、月担当が主に行っているが、年間を通して行う予定の行事については、担当が計画案を立て、それに基づいてチームで打ち合わせを行い協力体制を整えられるよう配慮している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		・利用する子ども達の興味を確認しながら遊具等調整している。 ・個に合わせた支援になるよう相談と工夫で対応するよう努めた。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		利用人数やその日の子ども達の体調や機嫌によって、できることを探りながら日々の活動を考えている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		打ち合わせの他、PCで共有する予定表へ入力することで1日の役割分担等、全員が確認できるようになっている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		必ず振り返りを行い、共有し記録するとともに、課題点やこれまでの支援方法について職員間でわかりやすく伝えるよう努めている。	
	22 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		・日々の支援後に振り返りを行い、他の職員の視点から子どもの姿を確認して記録している。 ・正確さを保つために、その日のうちに記録する時間を確保するよう努めた。また、課題でみえてきたことは手立てをいくつか考え改善に努めた。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			
	24 ガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか	5	未回答1		
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるために支援を行っているか	6		・活動する場所や遊びの内容など予定表や視覚提示で知らせている。 ・いろいろな場面で自分で選んで決めるを取り入れている。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			
	27 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	6			
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6		学校だよりをいただいているほか、必要に応じて連絡をとり共有している。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2	・現在、放デイを利用している児が、児童発達支援を利用していた時から情報共有が行われている。また、利用確定した際に、改めて発達検査の情報や児の姿等が共有されている。 ・就学前に、関係機関が集まって就学児引継ぎ会議を行っている。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	1 未回答1	・他事業所を利用する際には情報共有を行い、スムーズに事業所を移行できるよう配慮している。	
	31 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受ける機会を設けているか	4	2		専門機関が開催する研修には参加し、スキルアップに努めているが、助言を受ける機会はなかった。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか	5	1		・近隣の児童館に遊びに行き、施設との交流はあるが児童館利用児童との交流は出来なかつたので、今後、打ち合わせを行い児童との交流を行っていきたい。 ・交流活動を行うには、計画性や工夫、配慮がより必要と感じている。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	3	2 未回答1		
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		降所時やフィードバックの際に子どもの状況や課題について話をしたり、必要に応じてモニタリングの他に個別相談の時間も設けている。	課題の捉え方に少し歩み寄りが必要な場合もあった。

	35	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）の支援を行っているか、また情報提供を行っているか	3	2 未回答1	こども家庭センターで開催しているペアレンツ・トレーニングを紹介している。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、子どもや保護者の意思を尊重し、意向を確認する機会を設けているか	6		定期的にモニタリングを行うほか、降所時の話の時に、意向の確認を行っている。	
	38	放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から計画の同意を受けているか	6			
	39	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・降所時やモニタリング時に相談に応じるほか、必要な場合には適宜面談日を設定している。</li> <li>・相談にはより慎重な対応と情報を共有し、よりよい支援を目指している。</li> </ul>	ひとりで抱え込まないためにも専門家の助言や研修等の必要性を感じる。
	40	父母の会の活動を支援したり保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか、また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか		6	夏祭り等の行事で保護者同士や兄弟がふれあう機会を設定している。	児童発達支援の父の会から派生して交流していきたいと考えていたが、時間帯やニーズに合わせず交流は実施できていない。今後、職員間で方法を共有したり年間の予定等まで提案できるとよい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	未回答1		
	42	定期的に通信やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信されているか	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回、すぐすぐだよりを発行。市ホームページに掲載している。</li> <li>・メール配信サービス「マチコミ」にすぐすぐだよりを配信するほか、保護者と連絡をとれるようにしている。</li> </ul>	
	43	個人情報に十分注意しているか	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・回覧の際にも利用児氏名や記載内容が見えないよう配慮し徹底している。</li> <li>・対応に迷う時には、上司等に相談したうえで慎重に取り扱うようにしている。</li> </ul>	
	44	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児には視覚提示カードを作成し、選択肢で意思伝達ができるよう配慮している。個々に合わせた伝達方法で情報提供に努めている。</li> <li>・保護者から話してもらえるよう丁寧な対応を心掛けている。</li> </ul>	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する（お声がけする）等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	5		これまで新型コロナの影響で地域住民を行事に招いて触れ合う機会は出来なかつたが、徐々に招待する枠を広げ声がけしていきたい。
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6		年1回、内容の見直しを行っており、マニュアルに基づいて月1回の避難訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		策定後、見直しを行っており、計画に基づいて月1回の訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	4	1 未回答1	現在、事業所利用中に服薬する児はないなが、利用開始の際に健康状況票を保護者に記入していただき確認している。必要に応じて聞き取りも行っている。	定期的な聞き取りをすることで、新しい情報を得ることが大切である。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食物アレルギーは、契約時に用紙に記入するほか聞き取りを実施、契約更新時にも把握している。配慮が必要な場合は、医師の指示書を提示いただくことにしている。</li> <li>・おやつ提供に際しては保護者からの確認を行う。</li> </ul>	
	50	安全計画を策定し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理がされた中で支援が行われているか	5	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙やメール配信サービス「マチコミ」で周知。</li> <li>・年1回、保護者と連携して訓練を実施している。</li> </ul>	周知は徹底しているが課題もあるため、課題に対する対策と手立てが必要。緊張感をもって非常時に備えていく。
	52	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1		

	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	2	虐待防止委員会で年1回研修を実施する他、自己評価シートにて自身の療育の振り返る機会としている。	自分自身の振り返りにも質疑応答のある研修が行われるとよい。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等ディサービス計画に記載しているか	4	2	虐待防止委員会や普段の療育の振り返り時に子どもの姿を共有し、どのような場合に必要か確認し、保護者に伝え承を得ている。	施設としての対応方法を共有し、身体拘束の理解を深めるためにも職員間での勉強会があるとよい。